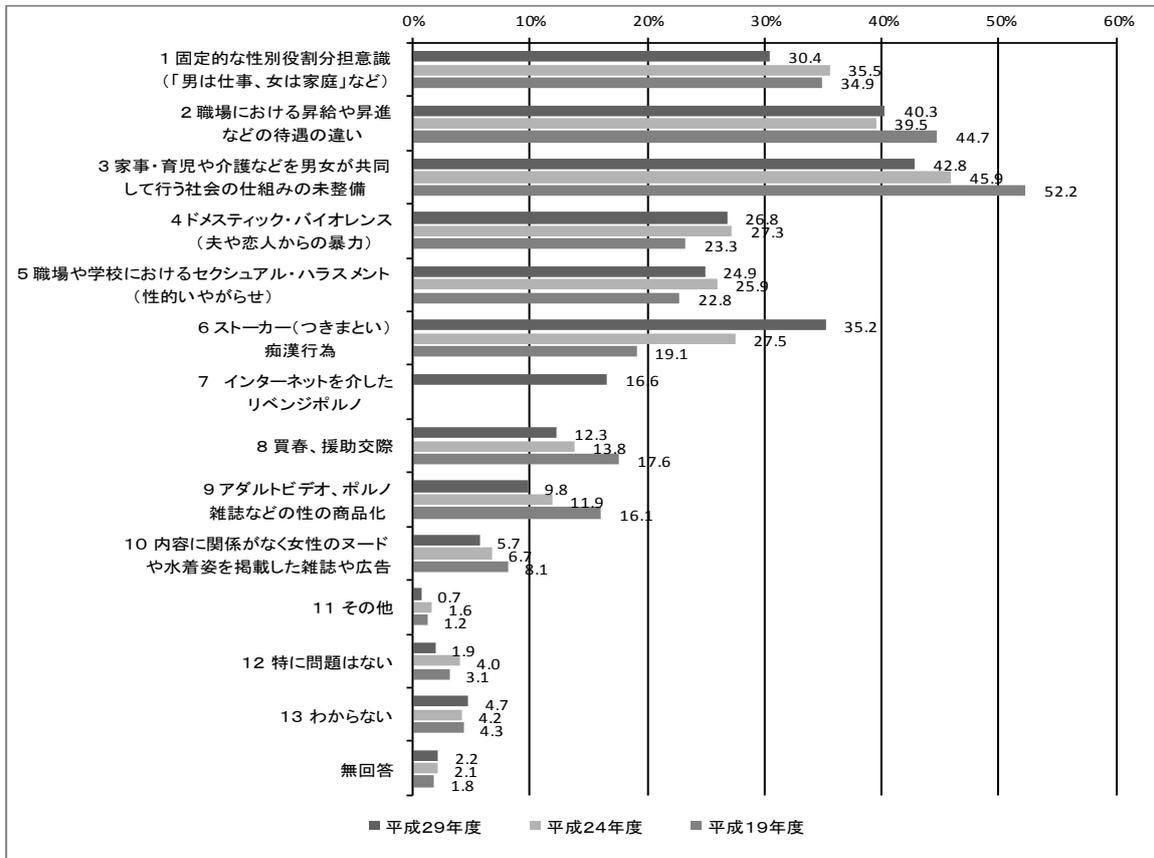


## (2) 女性の人権

問10 女性に関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思えますか。(〇は3つまで)



### ■女性の人権問題に関する意識

(%)

分類	合計 (人)	1 固定的な性別役割分担意識 (「男は仕事、女は家庭」など)	2 職場における昇給や昇進などの待遇の違い	3 家事・育児や介護などを男女が共同して行う社会の仕組みの未整備	4 ドメスティック・バイオレンス(夫や恋人からの暴力)	5 職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント (性的いやがらせ)	6 ストーカー(つきまとい)、痴漢行為	
総数 (N)	1,012	30.4	40.3	42.8	26.8	24.9	35.2	
性別	男性	527	30.6	41.7	41.9	26.9	25.8	38.5
	女性	462	31.2	39.6	43.9	26.4	23.8	31.8
	不明	23	13.0	21.7	39.1	30.4	26.1	26.1
年齢別	18～19歳	2	50.0	100.0	-	100.0	-	-
	20～29歳	48	37.5	41.7	41.7	27.1	33.3	43.8
	30～39歳	123	39.8	50.4	55.3	17.1	26.8	36.6
	40～49歳	156	37.2	46.8	38.5	26.9	26.3	41.0
	50～59歳	133	29.3	36.1	40.6	36.8	21.1	35.3
	60～69歳	230	26.5	39.1	42.2	34.3	25.7	35.2
	70～79歳	182	29.7	42.3	40.7	22.0	25.8	32.4
	80歳以上	115	21.7	27.0	44.3	15.7	20.0	28.7
	不明	23	13.0	21.7	39.1	30.4	21.7	26.1

分類	合計 (人)	7 インターネット を介したり ベンジポルノ	8 買春、援助 交際	9 アダルトビデオ、ポルノ雑誌などの性の商品化	10 内容に関係がなく女性のヌードや水着姿を掲載した雑誌や広告	11 その他	12 特に問題はない	13 わからない	無回答	
総数 (N)	1,012	16.6	12.3	9.8	5.7	0.7	1.9	4.7	2.2	
性別	男性	527	16.9	12.1	8.0	4.2	0.6	2.5	4.0	1.1
	女性	462	17.1	11.9	12.1	7.8	0.9	1.1	5.6	2.4
	不明	23	-	21.7	4.3	-	-	4.3	4.3	21.7
年齢別	18～19歳	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	48	6.3	14.6	6.3	2.1	2.1	-	-	-
	30～39歳	123	17.9	4.9	5.7	1.6	-	1.6	1.6	-
	40～49歳	156	30.1	10.3	5.1	2.6	1.3	0.6	0.6	-
	50～59歳	133	19.5	15.8	10.5	3.0	0.8	2.3	1.5	1.5
	60～69歳	230	17.8	10.4	10.0	6.5	-	0.9	4.8	1.7
	70～79歳	182	11.0	15.9	15.4	8.8	1.1	2.7	7.7	2.2
	80歳以上	115	7.0	14.8	13.0	13.9	-	4.3	14.8	6.1
	不明	23	-	17.4	4.3	-	4.3	4.3	4.3	21.7

#### 【回答傾向】

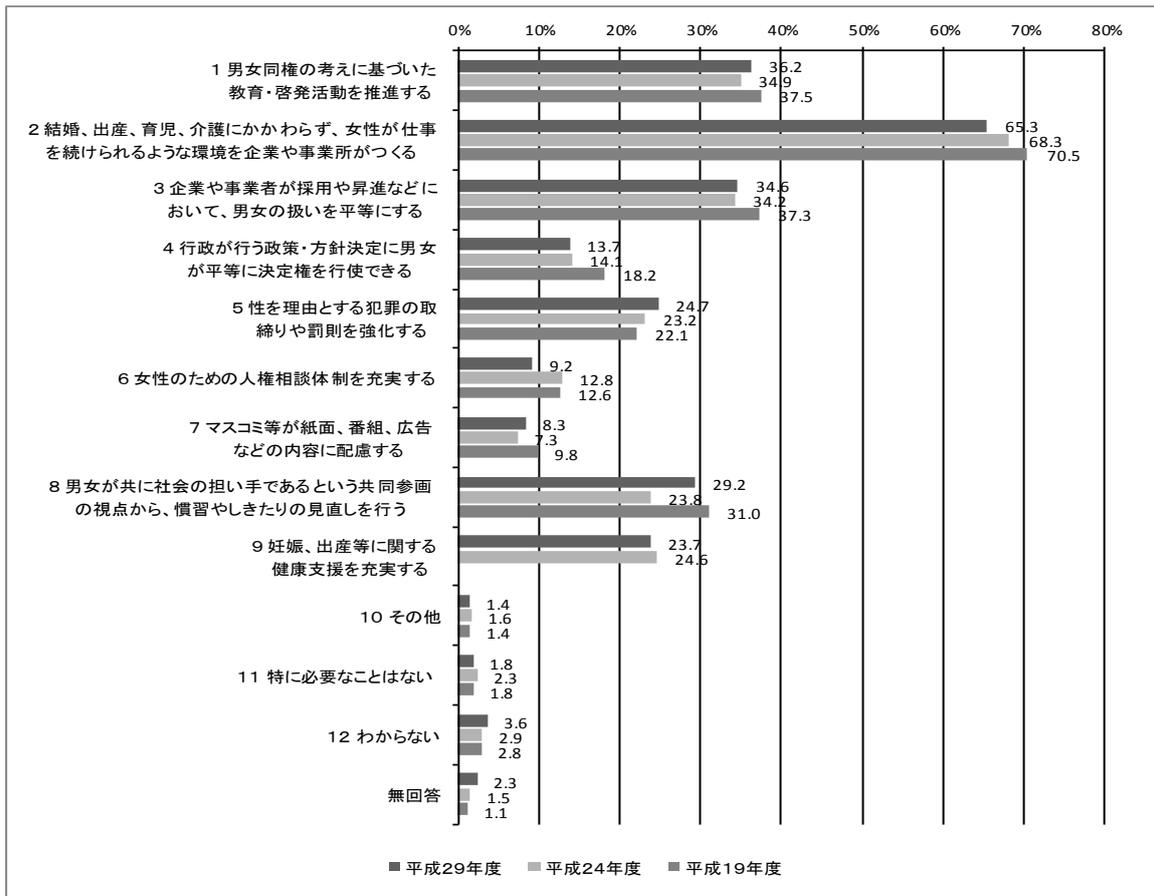
女性に関することで、人権上、深刻な問題があると思われることについて、「3 家事・育児や介護などを男女が共同して行う社会の仕組みの未整備」が42.8%と最も多く、次いで「2 職場における昇給や昇進などの待遇の違い」が40.3%、「6 ストーカー（つきまとい）、痴漢行為」が35.2%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「6 ストーカー（つきまとい）、痴漢行為」（男性：38.5%、女性：31.8%）、「2 職場における昇給や昇進などの待遇の違い」（男性：41.7%、女性：39.6%）、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「9 アダルトビデオ、ポルノ雑誌などの性の商品化」（女性：12.1%、男性：8.0%）、「10 内容に関係がなく女性のヌードや水着姿を掲載した雑誌や広告」（女性：7.8%、男性：4.2%）、「3 家事・育児や介護などを男女が共同して行う社会の仕組みの未整備」（女性：43.9%、男性：41.9%）となっている。

年齢別でみると、10歳代は「2 職場における昇給や昇進などの待遇の違い」・「4 ドメスティック・バイオレンス（夫や恋人からの暴力）」、30歳代、50歳代、60歳代、80歳以上では「3 家事・育児や介護などを男女が共同して行う社会の仕組みの未整備」の割合が他の年齢層と比較して高くなっている。

#### 【分析】

問 1 1 女性の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



■女性の人権を守るために必要なこと

(%)

分類	合計(人)	1 男女同権の考えに基づいた教育・啓発活動を推進する	2 結婚、出産、育児、介護にかかわらず、女性が仕事を続けられるような環境を企業や事業所がつくる	3 企業や事業者が採用や昇進などにおいて、男女の扱いを平等にする	4 行政が行う政策・方針決定に男女が平等に決定権を行使できる	5 性を理由とする犯罪の取締りや罰則を強化する	6 女性のための人権相談体制を充実する	
総数(N)	1,012	36.2	65.3	34.6	13.7	24.7	9.2	
性別	男性	527	40.2	63.9	36.4	16.3	24.7	8.7
	女性	462	32.5	66.9	33.1	10.8	24.9	9.5
	不明	23	17.4	65.2	21.7	13.0	21.7	13.0
年齢別	18～19歳	2	50.0	100.0	100.0	-	-	-
	20～29歳	48	22.9	58.3	27.1	10.4	39.6	4.2
	30～39歳	123	28.5	70.7	38.2	8.1	30.9	5.7
	40～49歳	156	37.2	60.9	37.8	14.1	26.9	5.1
	50～59歳	133	34.6	60.2	33.8	9.8	30.8	12.0
	60～69歳	230	37.8	67.4	33.5	16.1	24.8	12.2
	70～79歳	182	43.4	72.0	34.6	18.7	17.0	9.3
	80歳以上	115	40.0	58.3	33.9	13.0	14.8	11.3
不明	23	13.0	69.6	21.7	13.0	21.7	8.7	

分類	合計 (人)	7 マスコミ等が 紙面、番組、 広告などの 内容に配慮 する	8 男女が共に 社会の担い 手であるとい う共同参画 の視点から、 慣習やしきた りの見直しを 行う	9 妊娠、出産 等に関する 健康支援を 充実する	10 その他	11 特に必要な ことはない	12 わからない	無回答	
総数(N)	1,012	8.3	29.2	23.7	1.4	1.8	3.6	2.3	
性別	男性	527	8.5	28.3	21.3	1.5	2.5	2.1	1.5
	女性	462	8.4	31.0	26.8	1.3	0.9	5.2	2.4
	不明	23	-	17.4	17.4	-	4.3	4.3	17.4
年齢別	18～19歳	2	-	-	50.0	-	-	-	-
	20～29歳	48	8.3	35.4	29.2	6.3	-	-	2.1
	30～39歳	123	4.1	26.0	43.1	1.6	1.6	1.6	-
	40～49歳	156	10.3	29.5	19.2	1.3	1.9	2.6	0.6
	50～59歳	133	10.5	23.3	21.1	2.3	5.3	3.0	1.5
	60～69歳	230	9.1	30.4	17.0	0.4	-	2.6	2.6
	70～79歳	182	6.6	34.6	25.8	0.5	1.1	3.3	2.7
	80歳以上	115	10.4	28.7	20.9	0.9	2.6	11.3	3.5
	不明	23	-	17.4	17.4	4.3	4.3	4.3	17.4

#### 【回答傾向】

女性の人権が守られるために必要と思われることについて、「2 結婚、出産、育児、介護にかかわらず、女性が仕事を続けられるような環境を企業や事業所がつくる」が65.3%と最も多く、次いで「1 男女同権の考えに基づいた教育・啓発活動を推進する」が36.2%、「3 企業や事業者が採用や昇進などにおいて、男女の扱いを平等にする」が34.6%となっている。

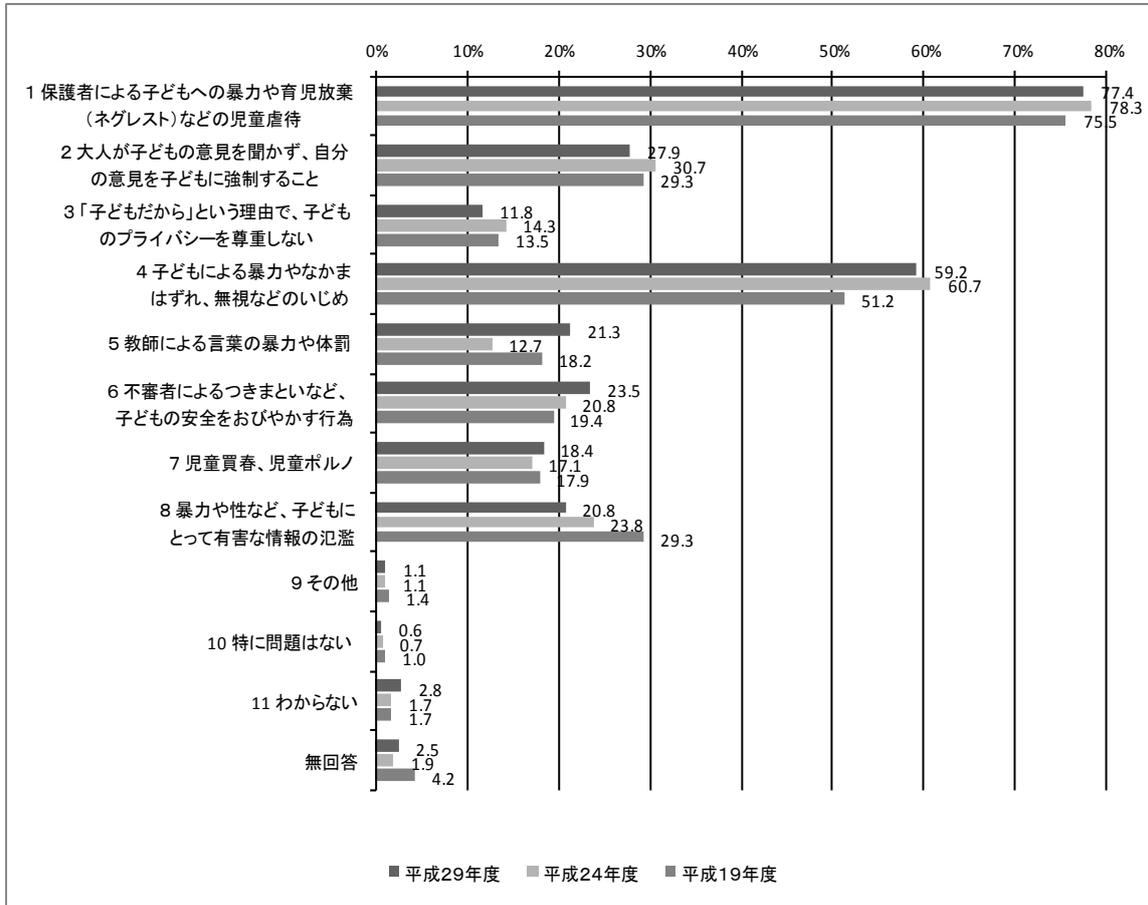
性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「1 男女同権の考えに基づいた教育・啓発活動を推進する」(男性：40.2%、女性：32.5%)、「2 行政が行う政策・方針決定に男女が平等に決定権を行使できる」(男性：16.3%、女性：10.8%)であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「9 妊娠、出産等に関する健康支援を充実する」(女性：26.8%、男性：21.3%)、「12 わからない」(女性：5.2%、男性：2.1%)、「2 結婚、出産、育児、介護にかかわらず、女性が仕事を続けられるような環境を企業や事業所がつくる」(女性：66.9%、男性：63.9%)、「8 男女が共に社会の担い手であるという共同参画の視点から、慣習やしきたりの見直しを行う」(女性：31.0%、男性：28.3%)となっている。

年齢別でみると、「2 結婚、出産、育児、介護にかかわらず、女性が仕事を続けられるような環境を企業や事業所がつくる」は全世代で高くなっている。

#### 【分析】

### (3) 子どもの人権

問12 子どもに関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。(〇は3つまで)



#### 子どもの人権問題に関する意識

(%)

分類	合計(人)	1 保護者による子どもへの暴力や育児放棄(ネグレスト)などの児童虐待	2 大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに強制すること	3 「子どもだから」という理由で、子どものプライバシーを尊重しない	4 子どもによる暴力やなかまはずれ、無視などのいじめ	5 教師による言葉の暴力や体罰	6 不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為	
		総数(N)	1,012	77.4	27.9	11.8	59.2	21.3
性別	男性	527	78.4	29.4	14.6	57.7	19.7	22.2
	女性	462	78.1	26.0	8.9	62.1	23.2	24.9
	不明	23	39.1	30.4	4.3	34.8	21.7	26.1
年齢別	18~19歳	2	100.0	50.0	-	100.0	50.0	-
	20~29歳	48	79.2	29.2	14.6	56.3	31.3	25.0
	30~39歳	123	85.4	23.6	13.0	56.9	18.7	33.3
	40~49歳	156	79.5	28.8	5.8	59.6	18.6	30.1
	50~59歳	133	85.7	20.3	9.0	59.4	18.0	25.6
	60~69歳	230	79.6	23.0	10.9	69.1	23.9	21.3
	70~79歳	182	74.2	33.0	17.0	57.1	22.5	17.6
	80歳以上	115	62.6	40.9	15.7	48.7	20.0	15.7
不明	23	43.5	26.1	4.3	39.1	21.7	21.7	

分類		合計 (人)	7 児童買春、児童ポルノ	8 暴力や性など、子どもにとって有害な情報の氾濫	9 その他	10 特に問題はない	11 わからない	無回答
総数 (N)		1,012	18.4	20.8	1.1	0.6	2.8	2.5
性別	男性	527	17.3	20.7	0.8	0.2	1.9	2.5
	女性	462	20.3	20.8	1.5	1.1	3.7	1.5
	不明	23	4.3	21.7	-	-	4.3	21.7
年齢別	18～19歳	2	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	48	16.7	12.5	4.2	-	-	2.1
	30～39歳	123	19.5	16.3	1.6	-	1.6	0.8
	40～49歳	156	22.4	19.2	1.3	-	0.6	1.3
	50～59歳	133	25.6	18.0	1.5	-	-	2.3
	60～69歳	230	16.1	24.3	0.4	0.4	1.3	1.7
	70～79歳	182	16.5	26.4	0.5	2.2	3.8	1.6
	80歳以上	115	14.8	19.1	-	0.9	12.2	5.2
	不明	23	4.3	17.4	4.3	-	4.3	21.7

### 【回答傾向】

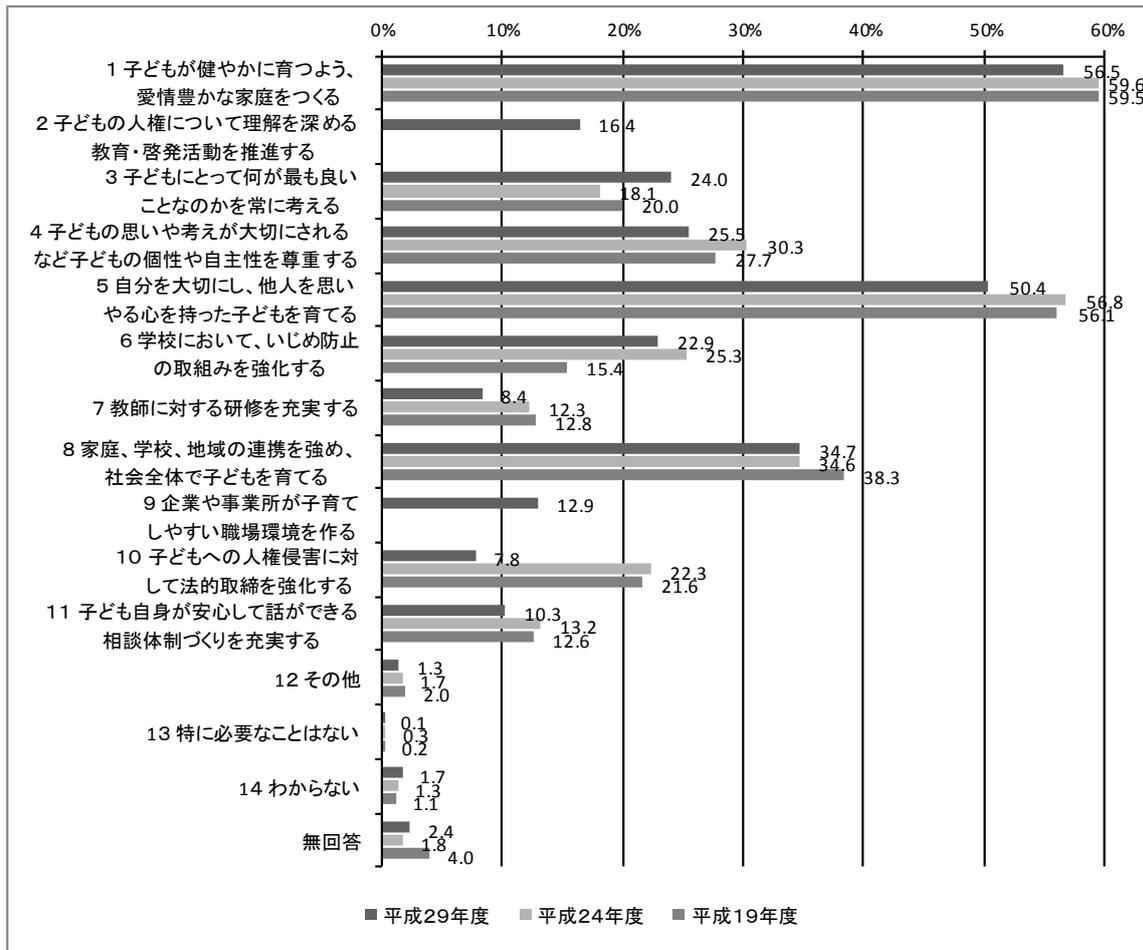
子どもに関することで、人権上、深刻な問題があると思われることについて、「1 保護者による子どもへの暴力や育児放棄（ネグレクト）などの児童虐待」が77.4%と最も多くなっている。次いで、「4 子どもによる暴力やなかまはずれ、無視などのいじめ」が59.2%、「2 大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに強制すること」が27.9%、「6 不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為」が23.5%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「3 『子どもだから』という理由で、子どものプライバシーを尊重しない」（男性：14.6%、女性：8.9%）、「2 大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに強制すること」（男性：29.4%、女性：26.0%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「4 子どもによる暴力やなかまはずれ、無視などのいじめ」（女性：62.1%、男性：57.7%）、「5 教師による言葉の暴力や体罰」（女性：23.2%、男性：19.7%）、「7 児童買春、児童ポルノ」（女性：20.3%、男性：17.3%）となっている。

年齢別でみると、「1 保護者による子どもへの暴力や育児放棄（ネグレスト）などの児童虐待」は全世代で割合が高く、30歳代では「6 不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為」33.3%、50歳代では「7 児童買春、児童ポルノ」25.6%、70歳代では、「3 『子どもだから』という理由で、子どものプライバシーを尊重しない」17.0%、「8 暴力や性など、子どもにとって有害な情報の氾濫」26.4%と他の年齢層と比較して高くなっている。

### 【分析】

問 1 3 子どもの人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



■子どもの人権を守るために必要なこと

(%)

分類	合計 (人)	1 子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくる	2 子どもの人権について理解を深める教育・啓発活動を推進する	3 子どもにとって何が最も良いことなのかを常に考える	4 子どもの思いや考えが大切にされるなど子どもの個性や自主性を尊重する	5 自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる	6 学校において、いじめ防止の取組みを強化する	7 教師に対する研修を充実する	
総数 (N)	1,012	56.5	16.4	24.0	25.5	50.4	22.9	8.4	
性別	男性	527	59.4	18.8	23.7	24.7	48.4	24.1	9.5
	女性	462	54.3	13.9	24.0	27.1	53.0	21.9	7.4
	不明	23	34.8	13.0	30.4	13.0	43.5	17.4	4.3
年齢別	18～19歳	2	100.0	-	100.0	50.0	50.0	-	-
	20～29歳	48	47.9	10.4	18.8	22.9	50.0	20.8	4.2
	30～39歳	123	56.9	11.4	21.1	28.5	42.3	26.8	7.3
	40～49歳	156	54.5	13.5	20.5	23.1	42.3	28.2	9.6
	50～59歳	133	52.6	21.1	24.8	18.0	42.9	27.8	9.8
	60～69歳	230	57.0	15.2	24.8	24.8	54.8	25.2	10.4
	70～79歳	182	61.5	20.3	28.0	33.0	58.2	18.7	8.8
	80歳以上	115	62.6	20.0	23.5	27.0	59.1	10.4	4.3
不明	23	30.4	13.0	26.1	13.0	43.5	17.4	4.3	

分類	合計 (人)	8 家庭、学校、 地域の連携 を強め、社会 全体で子どもを 育てる	9 企業や事業 所が子育て しやすい職 場環境を作る	10 子どもへの 人権侵害に 対して法的 取締を強化 する	11 子ども自身 が安心して 話ができる 相談体制づ くりを充実す る	12 その他	13 特に必要な ことはない	14 わからない	無回答	
総数 (N)	1,012	34.7	12.9	7.8	10.3	1.3	0.1	1.7	2.4	
性別	男性	527	35.3	11.8	7.4	7.0	1.5	0.2	0.9	2.5
	女性	462	34.6	13.9	8.4	14.1	1.1	-	2.4	1.5
	不明	23	21.7	21.7	4.3	8.7	-	-	4.3	17.4
年齢別	18～19歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	48	39.6	27.1	10.4	14.6	6.3	-	-	2.1
	30～39歳	123	43.1	24.4	11.4	9.8	0.8	-	-	0.8
	40～49歳	156	38.5	13.5	11.5	7.1	2.6	-	2.6	1.3
	50～59歳	133	33.1	12.0	10.5	11.3	2.3	-	0.8	2.3
	60～69歳	230	36.5	10.0	7.0	10.9	-	-	0.9	1.7
	70～79歳	182	34.6	6.6	3.8	10.4	0.5	-	1.1	1.1
	80歳以上	115	20.0	9.6	3.5	11.3	-	0.9	6.1	6.1
不明	23	21.7	21.7	4.3	8.7	4.3	-	4.3	17.4	

#### 【回答傾向】

子どもの人権が守られるために必要と思われることについて、「1 子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくる」が56.5%と最も多くなっている。次いで「5 自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる」が50.4%、「8 家庭、学校、地域の連携を強め、社会全体で子どもを育てる」が34.7%となっている。

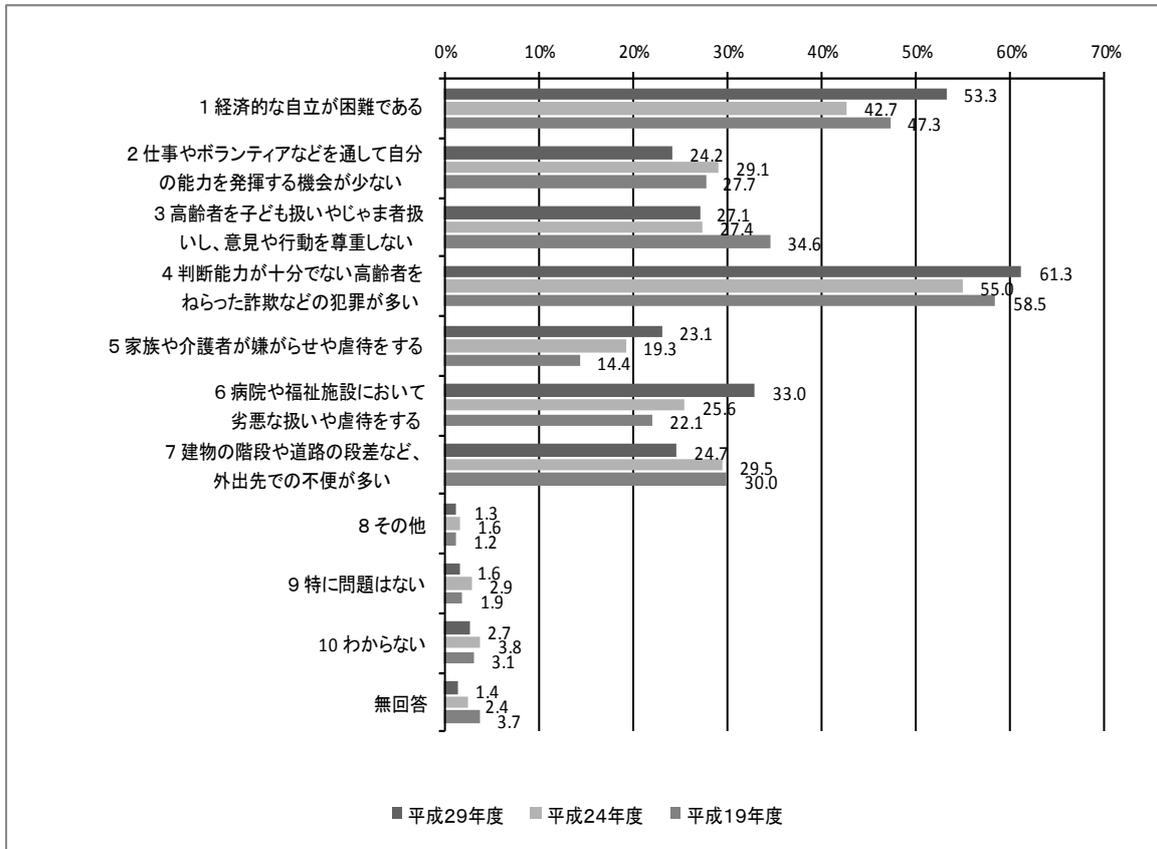
性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「1 子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくる」（男性：59.4%、女性：54.3%）、「2 子どもの人権について理解を深める教育・啓発活動を推進する」（男性：18.8%、女性：13.9%）となっており、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「11 子ども自身が安心して話ができる相談体制づくりを充実する」（女性：14.1%、男性：7.0%）、「5 自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる」（女性：53.0%、男性：48.4%）となっている。

年齢別でみると、20歳代は「9 企業や事業所が子育てしやすい職場環境を作る」27.1%、30歳代は「8 家庭、学校、地域の連携を強め、社会全体で子どもを育てる」43.1%、50歳代は「2 子どもの人権について理解を深める教育・啓発活動を推進する」21.1%、80歳以上は「5 自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる」59.1%と他の年齢層と比較して高くなっている。

#### 【分析】

#### (4) 高齢者の人権

問14 高齢者に関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思えますか。(〇は3つまで)



#### ■高齢者の人権問題に関する意識

(%)

分類	合計(人)	1 経済的な自立が困難である	2 仕事やボランティアなどを通して自分の能力を発揮する機会が少ない	3 高齢者を子ども扱いやじゃま者扱いし、意見や行動を尊重しない	4 判断能力が十分でない高齢者をねらった詐欺などの犯罪が多い	5 家族や介護者が嫌がらせや虐待をする	
総数(N)	1,012	53.3	24.2	27.1	61.3	23.1	
性別	男性	527	54.8	25.6	27.1	62.2	19.4
	女性	462	51.7	23.2	27.1	60.8	27.9
	不明	23	47.8	13.0	26.1	47.8	13.0
年齢別	18～19歳	2	50.0	-	50.0	100.0	50.0
	20～29歳	48	52.1	18.8	20.8	68.8	27.1
	30～39歳	123	51.2	30.1	25.2	64.2	31.7
	40～49歳	156	55.8	25.6	26.9	63.5	20.5
	50～59歳	133	50.4	23.3	20.3	66.2	21.1
	60～69歳	230	54.3	24.3	30.0	60.0	28.7
	70～79歳	182	56.0	21.4	28.0	60.4	15.9
	80歳以上	115	50.4	26.1	33.0	52.2	20.0
不明	23	47.8	13.0	21.7	47.8	13.0	

分類	合計 (人)	6 病院や福祉施設 において劣悪な 扱いや虐待をす る	7 建物の階段や道 路の段差など、 外出先での不便 が多い	8 その他	9 特に問題はない	10 わからない	無回答	
総数 (N)	1,012	33.0	24.7	1.3	1.6	2.7	1.4	
性別	男性	527	32.6	24.1	1.7	2.3	2.7	0.9
	女性	462	32.7	26.2	0.9	0.9	2.8	1.1
	不明	23	47.8	8.7	-	-	-	17.4
年齢別	18～19歳	2	-	50.0	-	-	-	-
	20～29歳	48	41.7	27.1	2.1	4.2	-	2.1
	30～39歳	123	32.5	15.4	1.6	-	2.4	-
	40～49歳	156	33.3	25.6	1.3	1.3	0.6	0.6
	50～59歳	133	48.1	18.0	2.3	0.8	1.5	0.8
	60～69歳	230	35.7	22.6	-	0.4	2.6	0.9
	70～79歳	182	25.3	34.1	1.1	1.6	5.5	1.6
	80歳以上	115	17.4	31.3	2.6	6.1	4.3	1.7
	不明	23	43.5	13.0	-	-	-	17.4

### 【回答傾向】

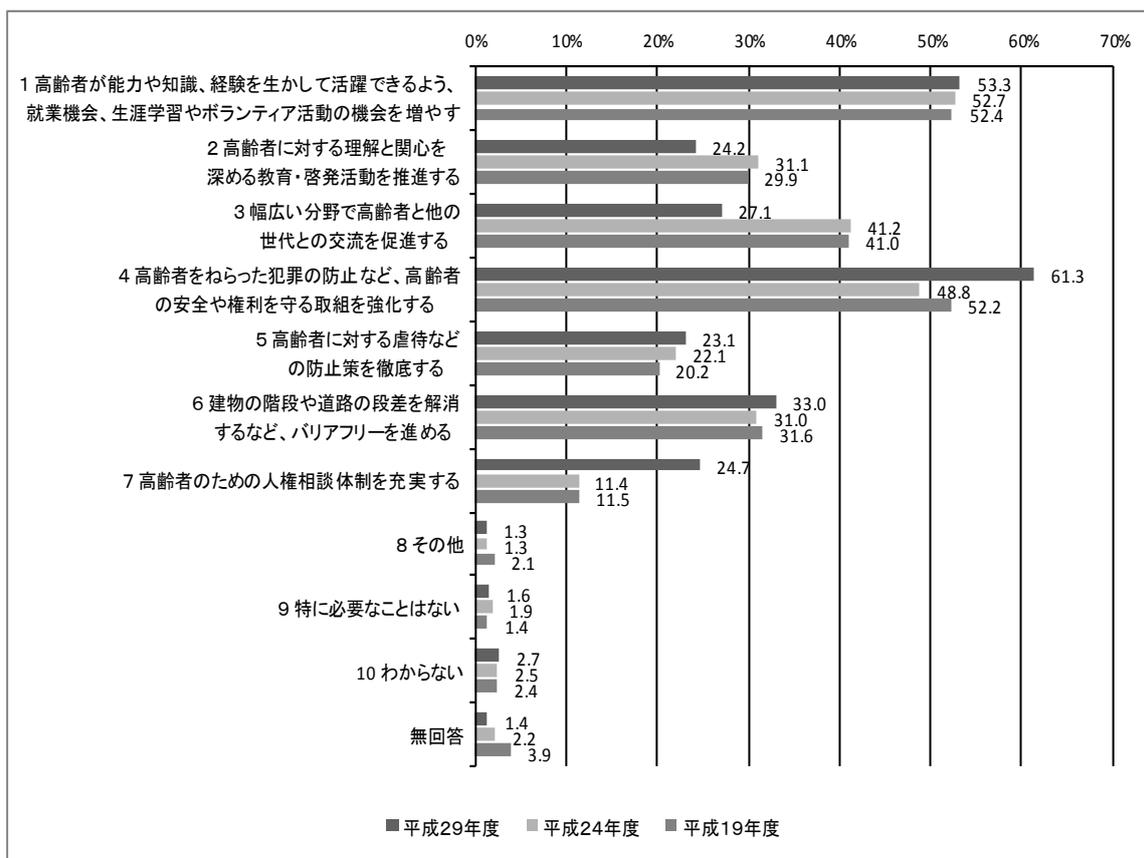
高齢者に関することで、人権上、深刻な問題があると思われることについて、「4 判断能力が十分でない高齢者をねらった詐欺などの犯罪が多い」が61.3%と最も多く、次いで「1 経済的な自立が困難である」が53.3%、「6 病院や福祉施設において劣悪な扱いや虐待をする」が33.0%、「3 高齢者を子ども扱いやじゃま者扱いし、意見や行動を尊重しない」が27.1%、「7 建物の階段や道路の段差など、外出先での不便が多い」が24.7%、「2 仕事やボランティアなどを通して自分の能力を発揮する機会が少ない」が24.2%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「1 経済的な自立が困難である」（男性：54.8%、女性：51.7%）、「2 仕事やボランティアなどを通して自分の能力を発揮する機会が少ない」（男性：25.6%、女性：23.2%）となっており、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「5 家族や介護者が嫌がらせや虐待をする」（女性：27.9%、男性：19.4%）、「7 建物の階段や道路の段差など、外出先での不便が多い」（女性：26.2%、男性：24.1%）となっている。

年齢別でみると、30歳代で「2 仕事やボランティアなどを通して自分の能力を発揮する機会が少ない」（30.1%）、50歳代で「6 病院や福祉施設において劣悪な扱いや虐待をする」（48.1%）、70歳代で「1 経済的な自立が困難である」（56.0%）と他の年齢層と比較して高くなっている。

### 【分析】

問15 高齢者の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



■高齢者の人権を守るために必要なこと

(%)

分類	合計 (人)	1 高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるよう、就業機会、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす	2 高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する	3 幅広い分野で高齢者との世代との交流を促進する	4 高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の安全や権利を守る取組を強化する	5 高齢者に対する虐待などの防止策を徹底する	
総数 (N)	1,012	52.1	29.0	37.5	54.0	27.4	
性別	男性	527	54.5	30.6	41.4	54.1	25.2
	女性	462	50.6	27.3	34.2	53.9	30.3
	不明	23	26.1	26.1	17.4	52.2	17.4
年齢別	18～19歳	2	100.0	-	-	100.0	50.0
	20～29歳	48	43.8	16.7	35.4	70.8	29.2
	30～39歳	123	54.5	23.6	39.0	52.0	30.1
	40～49歳	156	59.0	26.9	40.4	50.0	25.6
	50～59歳	133	50.4	24.1	39.1	57.9	33.1
	60～69歳	230	53.0	35.2	34.3	58.7	33.9
	70～79歳	182	53.3	29.7	39.6	50.0	19.2
	80歳以上	115	46.1	35.7	39.1	46.1	20.9
不明	23	26.1	26.1	17.4	52.2	17.4	

分類	合計 (人)	6	7	8	9	10	無回答	
		建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める	高齢者のための人権相談体制を充実する	その他	特に必要なことはない	わからない		
総数 (N)	1,012	30.6	11.7	1.9	1.5	3.1	1.6	
性別	男性	527	29.0	10.6	2.1	1.5	2.7	0.9
	女性	462	32.9	12.8	1.7	1.5	3.2	1.3
	不明	23	21.7	13.0	-	-	8.7	21.7
年齢別	18～19歳	2	50.0	-	-	-	-	-
	20～29歳	48	29.2	6.3	8.3	2.1	-	2.1
	30～39歳	123	26.0	6.5	4.9	0.8	4.1	-
	40～49歳	156	29.5	10.9	1.3	0.6	2.6	0.6
	50～59歳	133	30.1	10.5	1.5	-	1.5	-
	60～69歳	230	29.1	10.9	0.4	0.4	2.2	0.9
	70～79歳	182	36.8	15.4	1.1	3.3	3.8	2.7
	80歳以上	115	33.9	18.3	1.7	4.3	5.2	1.7
	不明	23	17.4	8.7	-	-	8.7	21.7

#### 【回答傾向】

高齢者の人権が守られるために必要と思われることについて、「4 高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の安全や権利を守る取組を強化する」が54.0%と最も多くなっている。次いで、「1 高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるよう、就業機会、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす」が52.1%、「3 幅広い分野で高齢者と他の世代との交流を促進する」が37.5%、「6 建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める」が30.6%、「2 高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」が29.0%となっている。

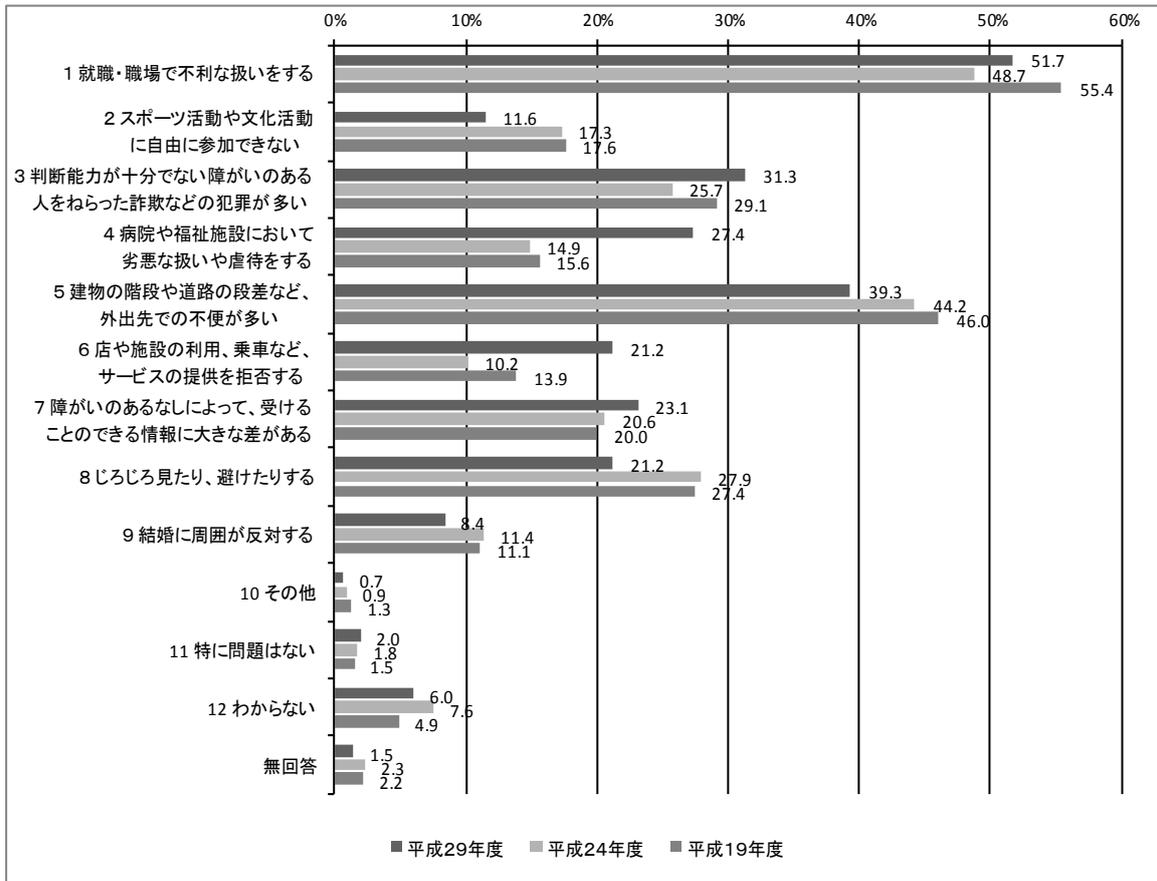
性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「3 幅広い分野で高齢者と他の世代との交流を促進する」（男性：41.4%、女性：34.2%）、「1 高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるよう、就業機会、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす」（男性：54.5%、女性：50.6%）となっており、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「5 高齢者に対する虐待などの防止策を徹底する」（女性：30.3%、男性：25.2%）、「6 建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める」（女性：32.9%、男性：29.0%）となっている。

年齢別でみると、10歳代、20歳代で「4 高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の安全や権利を守る取組を強化する」の割合が多く、80歳以上で「7 高齢者のための人権相談体制を充実する」（18.3%）と他の年齢層と比較して高くなっている。

#### 【分析】

## (5) 障がい者の人権

問 16 障がいのある人に関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。(〇は3つまで)



### 障がい者の人権問題に関する意識

(%)

分類	合計(人)	1	2	3	4	5	6	
		就職・職場で不利な扱いをする	スポーツ活動や文化活動に自由に参加できない	判断能力が十分でない障がいのある人をねらった詐欺などの犯罪が多い	病院や福祉施設において劣悪な扱いや虐待をする	建物の階段や道路の段差など、外出先での不便が多い	店や施設の利用、乗車など、サービスの提供を拒否する	
総数(N)	1,012	51.7	11.6	31.3	27.4	39.3	21.2	
性別	男性	527	52.4	11.8	33.8	26.0	39.7	22.6
	女性	462	51.5	11.7	28.8	29.0	40.3	19.7
	不明	23	39.1	4.3	26.1	26.1	13.0	21.7
年齢別	18～19歳	2	100.0	50.0	100.0	-	-	50.0
	20～29歳	48	39.6	6.3	27.1	25.0	35.4	27.1
	30～39歳	123	54.5	13.0	30.9	31.7	30.1	25.2
	40～49歳	156	54.5	6.4	28.2	30.8	30.8	32.1
	50～59歳	133	54.9	9.8	44.4	25.6	41.4	25.6
	60～69歳	230	53.5	11.3	29.6	34.3	43.5	19.6
	70～79歳	182	53.3	15.9	25.8	21.4	50.0	15.4
	80歳以上	115	42.6	15.7	35.7	17.4	40.9	7.0
不明	23	34.8	4.3	21.7	26.1	13.0	21.7	

分類		合計 (人)	7 障がいのある なしによっ て、受けるこ とのできる情 報に大きな 差がある	8 じろじろ見た り、避けたり する	9 結婚に周囲 が反対する	10 その他	11 特に問題は ない	12 わからない	無回答
総数 (N)		1,012	23.1	21.2	8.4	0.7	2.0	6.0	1.5
性別	男性	527	22.0	21.4	7.2	0.8	2.1	6.3	0.9
	女性	462	23.8	21.4	10.2	0.6	1.9	5.8	1.1
	不明	23	34.8	13.0	-	-	-	4.3	21.7
年齢別	18～19歳	2	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	48	27.1	39.6	12.5	-	2.1	2.1	2.1
	30～39歳	123	25.2	26.0	8.1	1.6	-	3.3	-
	40～49歳	156	26.9	24.4	10.9	0.6	1.3	1.9	0.6
	50～59歳	133	21.8	21.1	3.0	0.8	3.0	3.8	-
	60～69歳	230	21.7	17.0	6.5	0.4	2.2	4.3	0.4
	70～79歳	182	23.1	16.5	9.3	1.1	3.3	10.4	1.6
	80歳以上	115	17.4	22.6	13.9	-	1.7	14.8	3.5
不明	23	30.4	13.0	-	-	-	8.7	21.7	

#### 【回答傾向】

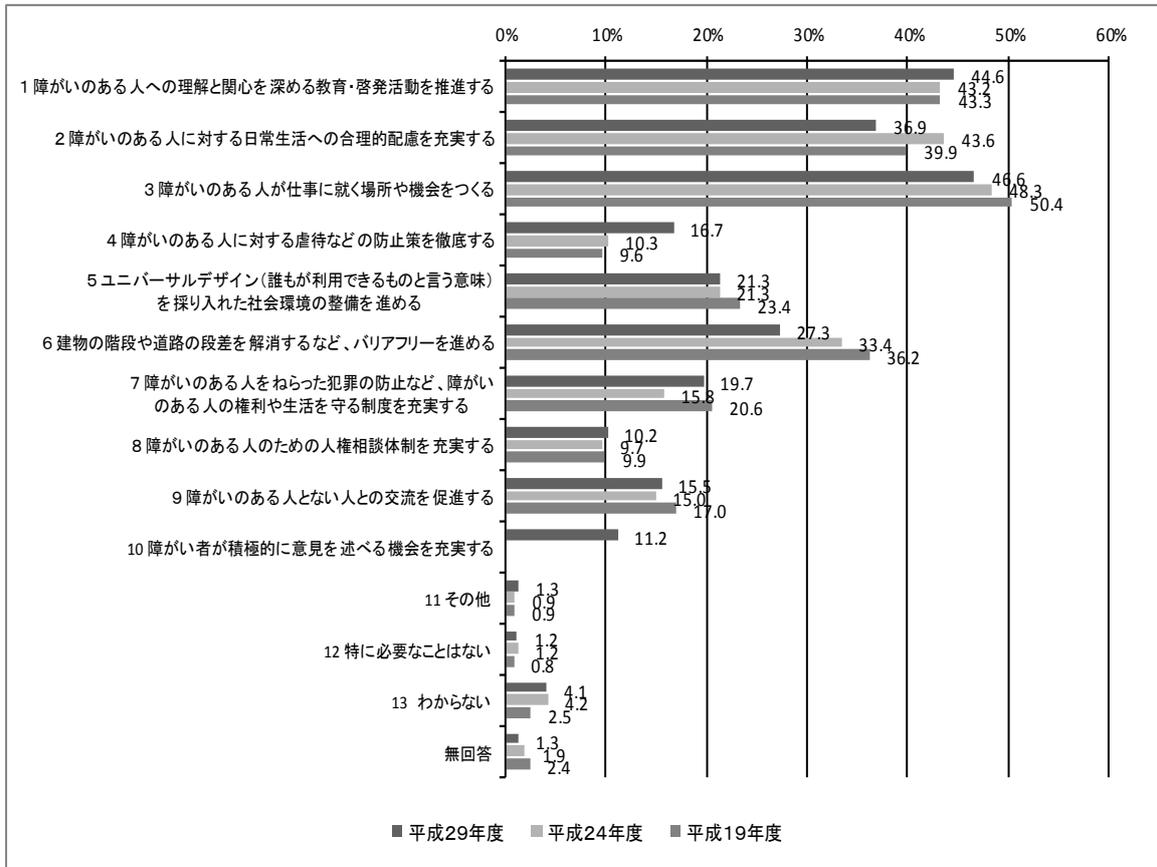
障がい者に関することで、人権上、深刻な問題があると思われることについて、「1 就職・職場で不利な扱いをする」が51.7%と最も多く、次いで「5 建物の階段や道路の段差など、外出先での不便が多い」が39.3%、「3 判断能力が十分でない障がいのある人をねらった詐欺などの犯罪が多い」が31.3%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「3 判断能力が十分でない障がいのある人をねらった詐欺などの犯罪が多い」(男性：33.8%、女性：28.8%)、「6 店や施設の利用、乗車など、サービスの提供を拒否する」(男性：22.6%、女性：19.7%)であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「4 病院や福祉施設において劣悪な扱いや虐待をする」(女性：29.0%、男性：26.0%)、「9 結婚に周囲が反対する」(女性：10.2%、男性：7.2%)となっている。

年齢別でみると、10歳代で「1 就職・職場で不利な扱いを受ける」・「3 判断能力が十分でない障がいのある人をねらった詐欺などの犯罪が多い」(100%)、70歳代で「5 建物の階段や道路の段差など、外出先での不便が多い」(50.0%)、80歳以上で「9 結婚に周囲が反対する」(13.9%)と他の年齢層と比較して高くなっている。

#### 【分析】

問17 障がいのある人の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



■障がい者の人権を守るために必要なこと

(%)

分類	合計(人)	1 障がいのある人への理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する	2 障がいのある人に対する日常生活への合理的配慮を充実する	3 障がいのある人が仕事に就く場所や機会をつくる	4 障がいのある人に対する虐待などの防止策を徹底する	5 ユニバーサルデザイン(誰もが利用できるものと言う意味)を採り入れた社会環境の整備を進める	6 建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める	7 障がいのある人をねらった犯罪の防止など、障がいのある人の権利や生活を守る制度を充実する	
総数(N)	1,012	44.6	36.9	46.6	16.7	21.3	27.3	19.7	
性別	男性	527	46.3	40.2	48.4	17.6	21.8	27.5	20.3
	女性	462	42.6	33.8	44.8	15.8	21.4	27.9	19.5
	不明	23	43.5	21.7	43.5	13.0	8.7	8.7	8.7
年齢別	18～19歳	2	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-
	20～29歳	48	39.6	41.7	45.8	14.6	20.8	25.0	20.8
	30～39歳	123	42.3	45.5	48.0	16.3	32.5	20.3	17.9
	40～49歳	156	45.5	34.0	39.7	16.0	26.9	28.8	21.8
	50～59歳	133	36.8	37.6	42.9	17.3	27.1	30.8	24.1
	60～69歳	230	45.7	34.8	52.6	19.6	21.7	28.7	18.7
	70～79歳	182	50.5	34.1	50.5	13.2	13.7	25.8	20.3
	80歳以上	115	44.3	40.0	42.6	19.1	9.6	33.9	16.5
不明	23	43.5	21.7	39.1	13.0	8.7	4.3	8.7	

分類	合計 (人)	8 障がいのある 人のため の人権相談 体制を充実 する	9 障がいのある 人となない人 との交流を 促進する	10 障がい者が 積極的に意 見を述べる 機会を充実 する	11 その他	12 特に必要な ことはない	13 わからない	無回答	
総数 (N)	1,012	10.2	15.5	11.2	1.3	1.2	4.1	1.3	
性別	男性	527	10.1	13.3	9.3	1.5	1.5	3.6	0.8
	女性	462	10.0	18.4	13.4	1.1	0.9	4.5	1.1
	不明	23	17.4	8.7	8.7	-	-	4.3	17.4
年齢別	18～19歳	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-
	20～29歳	48	4.2	25.0	10.4	2.1	2.1	2.1	2.1
	30～39歳	123	5.7	17.9	8.1	3.3	-	3.3	-
	40～49歳	156	9.6	17.3	7.7	1.9	1.3	1.3	0.6
	50～59歳	133	11.3	15.8	5.3	1.5	2.3	5.3	-
	60～69歳	230	10.0	11.3	12.2	0.4	0.9	3.0	0.9
	70～79歳	182	12.1	16.5	18.1	1.1	0.5	5.5	1.1
	80歳以上	115	13.0	13.9	13.9	-	2.6	7.0	2.6
	不明	23	13.0	8.7	8.7	-	-	8.7	17.4

#### 【回答傾向】

障がい者の人権が守られるために必要と思われることについて、「3 障がいのある人が仕事に就く場所や機会をつくる」が46.6%と最も多く、次いで、「1 障がいのある人への理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」が44.6%、「2 障がいのある人に対する日常生活への合理的配慮を充実する」が36.9%、「6 建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める」が27.3%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「2 障がいのある人に対する日常生活への合理的配慮を充実する」(男性：40.2%、女性：33.8%)、「1 障がいのある人への理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」(男性：46.3%、女性：42.6%)、「3 障がいのある人が仕事に就く場所や機会をつくる」(男性：48.4%、女性：44.8%)であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「9 障がいのある人となない人との交流を促進する」(女性：18.4%、男性：13.3%)、「10 障がい者が積極的に意見を述べる機会を充実する」(女性：13.4%、男性：9.3%)となっている。

年齢別でみると、30歳代で「5 ユニバーサルデザイン(誰もが利用できるものという意味)を採り入れた社会環境の整備を進める」32.5%、80歳以上で「6 建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める」33.9%と他の年齢層と比較して高くなっている。

#### 【分析】